

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Tomo de coco 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025/12/01 ～ 2025/12/13		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	～		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/21		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の発達状況や特性、在籍先での様子を把握し、個々に応じた支援を行っている。	訪問先の環境や状況に応じた支援内容を検討・実施している。	訪問先の状況把握をさらに丁寧に行い、より環境に即した支援へ発展させていく。
2	訪問先の先生方と情報共有・意見交換を行い、共通理解のもとで支援を進めている。	訪問時の聞き取りを丁寧に行い、在籍先の実情に即した具体的な支援方法を対話的に共有している。支援後には児童の様子や変化を報告し、共通理解のもと継続支援につなげている。	連携体制は整っているが、今後は方法や機会をさらに工夫し、より円滑な連携を目指す。
3	支援記録の作成し、振り返りを行いながら支援内容の改善につなげている。	支援記録は事実と評価を整理して記載し、目標との関連を確認しながら振り返りを行っている。児童の変化や支援効果を踏まえ、職員間で共有・検討し、支援内容の見直しにつなげている。	記録をより効果的に活用し、支援の質向上につなげていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や成果が客観的に整理・共有しにくい場合がある。	訪問支援の個別性により、記録内容や共有方法にばらつきが生じる場合がある。	保育所等訪問した内容について、必要に応じて事業所職員間で共有し、療育の質をより高めていく。
2	学校との連携は行われているが、情報共有の機会や方法について、さらなる工夫が求められる。	訪問時間や連絡手段が限られる中で、十分な情報共有機会の確保が課題となる場合がある。	連絡方法の見直しや定期的な情報共有の機会を設け、継続的かつ円滑な連携体制を構築する必要がある。
3	支援評価や検証の機会が十分に確保できていない場合がある。	日々の支援を優先する中で、振り返り時間の確保が十分でない場合がある。	計画的に振り返りの場を設け、支援内容の評価・検証を行う体制を整備することで、支援の質向上と継続的な改善を図る。